

平成29年

豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会

7月21日

豊明市議会

豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会
会議録

平成29年7月21日

午前11時00分 開会

午前11時32分 閉会

1. 出席委員

委員長	杉浦光男	委員	富永秀一
委員	後藤学	委員	郷右近修
委員	清水義昭	委員	近藤ひろひで
委員	蟹井智行	委員	宮本英彦
委員	ふじえ真理子	委員	近藤善人
委員	鵜飼貞雄	委員	毛受明宏
委員	近藤千鶴	委員	早川直彦
委員	山盛さちえ	委員	月岡修一
委員	近藤郁子	委員	三浦桂司
委員	一色美智子		

2. 欠席委員

副委員長 村山金敏

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	石川晃二	議事課長	鈴木美智雄
議事担当係長	水野美樹	議事課主事	荻正幸

4. 説明のため出席した者の職、氏名

なし

5. 傍聴者

一般傍聴者 2名

午前11時開会

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、特別委員会を開催いたします。

定刻に御出席いただきまして、ありがとうございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会を開会いたします。

本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

（一般傍聴者2名入室）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 村山委員はきょう欠席の届けが出ておりますので、よろしくお願ひします。

それからもう一つ。きょうの予定は一応1時間を予定しておりますので、委員の皆さんの御協力を得て、協力し合って終わらせたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。続けます。

それでは、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

1、広聴会についてを議題といたします。

7月9日に広聴会を実施しました。その折に、資料ナンバー9、追加の資料ということで、各会場で使わせていただきました。これを本委員会の資料とすることに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。

3会場に分かれ、各委員にはそれぞれの役割分担を持っていただき、ありがとうございました。アンケート結果の集計を見ていただきながら、各会場の状況を委員全員で共有したいと思いますので、各会場の責任者から、広聴会の第2部の部分に関して、簡潔に状況等を報告、お願ひいたします。

初めに、商工会館、清水委員。

（商工じゃないの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 間違えました。商工会館は……。

（南部からのほうがいいんじゃないのの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、南部公民館。

○清水義昭委員 じゃ、南部公民館のほうの第2部のほうの雰囲気というか、そういうも

のを簡潔に申し上げたいと思います。

議員定数・議員報酬に関しては、時間の関係もあって、広聴会にお越しいただいた方の御意見を聞くという程度にとどめさせていただきました。それで、簡潔にですので、議員定数なんですが、議員定数のほうは、意見としてはふやすという意見はありませんでした。これはアンケートの結果にもありますけども。それで、現状維持、それから、少し減らしてもいいんじゃないかというような意見がありました。続いて、報酬なんですが、報酬については現状維持という方もお見えになりましたが、ふやしてもいいんじゃないかと、仕事が大変だからふやしてもいいんじゃないかというような意見もありました。総合的に、皆さん、改選前よりも頑張っているという御意見があって、正直なところ、今のところ、余りわからないですけども、定数は現状か減らす、それから、報酬は現状かふやしてもいいんじゃないかと、そんなようなところに落ちついたような雰囲気でした。特にけんけんがくがくとしたような感じはありませんでした。

以上です。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ありがとうございます。

続いて、文化会館ですね。

（発言する者あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、商工会館、お願いいたします。

近藤千鶴委員。

○近藤千鶴委員 商工会館は、参加人数が17名で、傍聴者の方が1名、他市町の議員の方がいらっしゃいました。アンケート回収者は14名でした。2つのグループに分かれていただき、1部、2部と同じメンバーで開催しました。アンケートによりますと、商工会館には初めて、こういう議員の議会報告会、今回の広聴会も通して初めて参加したという方が10名いらっしゃったのが特徴じゃないかと思います。どうしてその方たちが参加したかという事は、今回は大きく広聴会という題目でしたので、自分たちが今困っている地域の問題をとにかく議員に聞いてもらいたいという思いで、1部がメインでいらっしゃったという方が何人いらっしゃいました。なので、議員定数・報酬についても、告知はしてあったんですけど、そこまではちょっと難しくて私たちはわかりませんという方も多くいらっしゃいました。また、初めて参加の方の中で、地域の役職を持ったことで市議会にも興味を持って、市議会はどんな状況なんだろうということで初めて参加しましたという方がいらっしゃいました。アンケートの自由記述、また、各議員定数・報酬についての意見は、このアンケート、きょうの机の上に配付されている中に載っておりますので御確認ください。

お願いします。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ありがとうございます。

次は文化会館ですね。

早川委員。

○早川直彦委員 じゃ、私のほうから、文化会館について説明させていただきます。

文化会館については15名の出席だったんですが、第2部のほうは1人お帰りになって14名で話し合いが行われました。

4ページ、5ページを見ていただくと自由記述の部分が書かれています。見ていただければ、現状維持の方もいれば、減の方もいれば増の方もいると。多分どの会場も一緒だと思います。読んでいただければわかると思うんですが、全体的な会場の意見とおおむね似ているのかなというふうに思います。また、11ページを見ていただくと、各会場の意見の文化会館の部分があるんですが、意見の中で、報酬については職員の給料も下げるべきだから議員も報酬は下げなきゃいけないとか、議員、高齢者が多いと。若い人がもっと議員になれるように多選を禁止するというような御意見が出た後に、私は全く逆だよという意見で、参加された方との言い合いというのが始まってちょっと私がとめたんですけど、ちょっと済みませんと言ってとめたんですけど、結構そういうふうに市民の方同士の意見の言い合いというのか、いろんな意見があるんだなというのは感じました。読んでいただければわかる内容ですので、簡単に説明を終わります。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 報告ありがとうございます。

各会場の状況が共有できたかなというふうに思います。自分の会場についてはそれぞれ委員の方、熟知しておるわけですが、他の会場についてはややわからないところがあるということで、今報告していただいた内容をよく理解していただきたいと思います。

今の御三方の、3委員の報告の中で、お聞きしたいというようなことはございますか。

（なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） なしと認めます。

次に、アンケートの集計結果を短時間に集計していただきました。早川委員、御苦労さまでした。簡潔に報告していただいて、内容というか、感じというか、雰囲気というか、全体に報告をしてください。

早川委員。

○早川直彦委員 私のほうから、集計しましたアンケートについて説明します。

まず、3会場なんですけど、これ、アンケートの集計の総数は38名となっていますが、参

加者のほうは、南部公民館が10名、商工会館が17名、傍聴の他市の議員が1人、文化会館は15名、他市の議員の傍聴が3名と、要するに傍聴は4名となります。総数でいうと市民の方が42名参加したということになります。アンケートの回答者の総数は、これは議員は抜いてありますので38名となります。南部公民館10名、商工会館14名、文化会館14名となります。また、これ、アンケートの集計は前のときに、議員の、傍聴された議員の方の意見は抜いてほしいということで、全部数字は抜いてあります。抜いた数字で集計したものです。2、3、4、11、12、13、14と飛んでいるのは、これはアンケートの集計した抜粋の部分ですので、1、2、3、4とはあえてしなかったです。アンケートとまたリンクをしないとおかしいんじゃないかと言われるといかんですので、この辺はちょっと数字が飛んでいるのはお許してください。性別は男性の方が圧倒的に30名と多かったと。また、年代は、50代、60代、70代の方、どちらかという年齢の高い方、若い方は30代の方が1人だけだということもこのアンケート結果の中では考えなきゃいけないのかなと思います。

あと、見ていただいての内容のとおりなんですけど、特に下のほうの専門家による講演会を開催してはどうかというところが、開催したほうがよいが12、開催しなくてもよいが9、どちらでもよいが12、無回答5となりました、これを抜いた数字で。開催した場合、参加してみたいですかというのは、参加したいが20、参加したくないが1、わからないが11、無回答が6です。開催する場合の予算、どれぐらいがいいかと。10万円程度が6、30万円程度が4、50万円程度が1、わからないが20、無回答が7となっております。この辺がちょっと数字が変わっているところですので、また前のと確認してもらえばわかると思います。

簡単ですが、説明を終わります。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ありがとうございます。

ただいまの代表の3人の方、それから、取りまとめた早川委員に報告していただきました。自由記述等も含めて、これ、ページ数が、1ページから始まって9ページに、もっとあるかな、11ページにわたりますので、一応皆さんにずっと目を通していただくということで、ここで20分までの暫時休憩としたいと思いますので、暫時休憩でもどこかへ行ってしまうということじゃなくて、ここに集中していただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

暫時休憩です。

午前11時12分休憩

午前11時21分再開

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、休憩を解き、会議を続けます。

本日配付しましたアンケートの集計結果を当委員会の資料とすることに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。資料ナンバー10といたします。

続いて、議題2、講演会についてを議題といたします。

（その前への声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） その前というのはいずれも、早川委員。

○早川直彦委員 アンケートの19のこの間違いの部分は、修正するという事によろしいですか。ここで言うとおかないと、このまま間違った資料になっちゃいますので。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） もちろん先ほどの出た意見については修正をしてください。お願いいたします。

続いて議題の2、講演会についてを議題といたします。

アンケートの集計結果は、講演会については、先ほど早川委員のほうからも述べられましたが、集計表の13、14、15の辺が数字としては上がってきておるところであります。皆さん、この数字については理解されたと思いますが、当委員会としてはいかがいたしますか。講演会についてですが、御意見、まず、やるかやらんかという。予算については、この前、暫定ですが、10万円の、諸経費含めて15万ということで協議会のほうでは決まりました。そういうことも含めて。

宮本委員。

○宮本英彦委員 アンケート結果をやっぱり重視すべきかなとは思いますが。回答者38名の中で、38名がそもそも多いか少ないかというか、この問題もありますけれど、参加された方のやはり38名中、開催したほうがよいという人が12名もみえますので、そして、開催したら参加してみたいという方がさらに20名もあるということは、やはりこのアンケート結果を無視するわけにはいかんと思うんですね。そういうことからいくと、やはりこのアンケート結果はそれなりに重視すべきものかなと。そういうようなことを思いますので、開催したほうがよいというふうに思います。

開催する場合の予算は、これも一番多いのが10万程度ですので、これは前回のときに話が出ていますけれど、諸経費入れて15万、講演料10万程度で諸経費入れてマックス15万ぐ

らいかなというふうな、これは概算ですけれど、そういうようなことを含めて開催したほうがいいというふうに思います。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） そのほか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 今後、講師の選定であったりだとか広報の仕方、いろいろと課題は出てくるかとは思いますが、このアンケートの結果を尊重するのであれば、私も講演会は開催するという方向でいいのではないかと考えております。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） そのほかありますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 アンケート集計表の13、14の項目を見ていると、13のほうでは、開いたほうがいいのか開かなくていいのかというところでは、開かなくてもいいんじゃないかというふうに思っている方でも、全体の総意で実際にでは開催するというふうになった場合は参加したいなというふうな方が多いのではないかなというふうに数字が読みとれますので、全般的な興味、関心の高さ、市民の方の興味、関心の高さというのはあるんじゃないかなと思いますので、開いたほうがいいんじゃないかなと思います。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） そのほかございませんか。

（進行の声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、今3人の委員から御意見をいただきましたが、やったらどうだということですので、やるということに決定してよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。

予算については、以前の協議会等でも話が出ていましたが、10万プラスいろいろ入れて5万で15万、これが上限ということで、安けりや安いほどいいわけですが、上限ということで、ここで決定させていただいてよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 確認をいたしました。決定ということで確認をいたしました。ありがとうございました。

続いて、議題の3、その他に入ります。

この際、委員より何かありますか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほど、講演会はやる方向で決定したんですが、日にちのことが出てな

いんですが、議会報告会は11月18日に午後から行うということが決まっているんですが、多分、会場をとるとか、その辺も含めて考えないといけないと思うんですが、その辺はどういうふうに委員長は考えているのでしょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） わかりました。ありがとうございます。

その件について、もう一回協議会を開かなくてはいけないと思っていますが、その協議会の内容は、いつ、いつというのは、10月だよ、11月だよって、それから、誰を呼ぶのか、それから、どこで、いつ、誰を呼んでどこでやるかというのは、これは全部リンクしておりますので、この3つがうまくすばっとはまらにやいけませんので、協議会を持って慎重に決めたいというふうに思います。その協議会を持つまでに、ある程度会派なり、いろいろなことでみんな御意見をいただいて、どういう講師がいいよとか、あるいはいつごろがいいよとか、どこの会場だという、この3つは本当に全部関連していますので、なるだけ早く協議会を持ちたいなというふうに思います。

その場合に、予算は今上限15万程度ということで決定していただきましたが、これは予算は市の財政当局のほうの流れがありますので、考えますと、ヒアリングが、課長級とかそういう人のヒアリング、7月25日で、もう少し上位というか上部の方である程度決定されるようなヒアリング、それが8月2日というふうに聞いておりますが、このところは事務局のほうにわかればお聞きしたいというか、当委員会としてもお聞きしたいですが、どうでしょうか。秘密ではなかったら。秘密事項でしたら。

事務局長。

○議会事務局長（石川晃二君） ヒアリングとかそういうふうじゃなくて、9月議会に上程して予算が通れば開催できると。今は上程前ですので、委員会でいつとかそういうことを決定することがいいのかどうかと。内々で協議するというのは問題ないんですけども、委員会としては開催するというので予算の要求をいたしますという、そこまでにとどめていただいて、9月議会で上程されて初めて具体的な話をするのかなと。委員会での話はそういう形でやっていただかないと、予算もないのに委員会で決定しちゃうということがちょっとまずいのかなというふうに思いますので、協議会のほうでちょっと詰めていただく方向でお願いしたいなと思います。

以上です。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 先ほど申し上げた、予算もここで決定という言葉を使いましたが、今、事務局長のほうから言われたように、要望するというので、決定ということは、その言葉はよくないと思いますので取り消しをい

たします。ですが、上限15万で要求して、今までの流れの中で、ぜひともこれは決定して
いただいで行いたいというふうに、そういう希望は持っております。というふうにとどめ
ます。

ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 ということは、15万の予算を要望するということは、きょうのこの
委員会で決定して流すということはできないんですかね。これは早ければ早いほうがいい
んじゃないですか。あとのことは水面下で決めておいてくださいよという意味合いだと思
いますので、今、皆さんがここで同意して予算請求をするということを決議されたらどう
でしょう。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） わかりました。

だで、予算の作成権、予算を提出するのは市長のほうに、行政当局のほうにありますの
で、議員のほうには決定権はあってもありませんので、それが。ですが、要望はできます
ので、この当委員会としては、先ほど何回もここで話し合いましたように、15万円を上
限として要求をするということで決定してよろしいですか。そのことについて。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。

それでは、予算については9月議会という、そういうことはありますが、いつ誰をどこ
でということは、これも予算との絡みでいろいろと難しい問題が出てくると思いますが、
次の協議会をいつにするかということを決めなくてはなりません、このきょうの委員会
としてはここで閉じて、協議会を続けて行いたいと思います。この特別委員会を閉会とい
たします。

午前11時32分閉会